

研究の概要

神経難病病棟に勤務する看護師は、他の看護師に比べ精神的健康が悪いことが明らかになっている。しかし、そのような環境下でも看護に尽力している看護師は、何らかの看護のやりがいを感じており、それが仕事を継続していく支えになっていると考えられる。満足感や達成感などの仕事への肯定的感情の仕組みを知り、より質の高い看護へ繋がるよう、神経難病看護のやりがいを明らかにする。

研究期間

承認日より2021年10月1日まで

研究機関の名称及び研究機関の長

独立行政法人国立病院機構山形病院
院長 川並 透

研究責任者の氏名

看護部4病棟
看護師 澤畑 七海

オプトアウト

特記なし